

平成30年9月14日（金）
午後1時30分～@佐渡市議会



http://hiroshimurooka.com/documentandscript_201809

平成30年9月定例会 一般質問資料

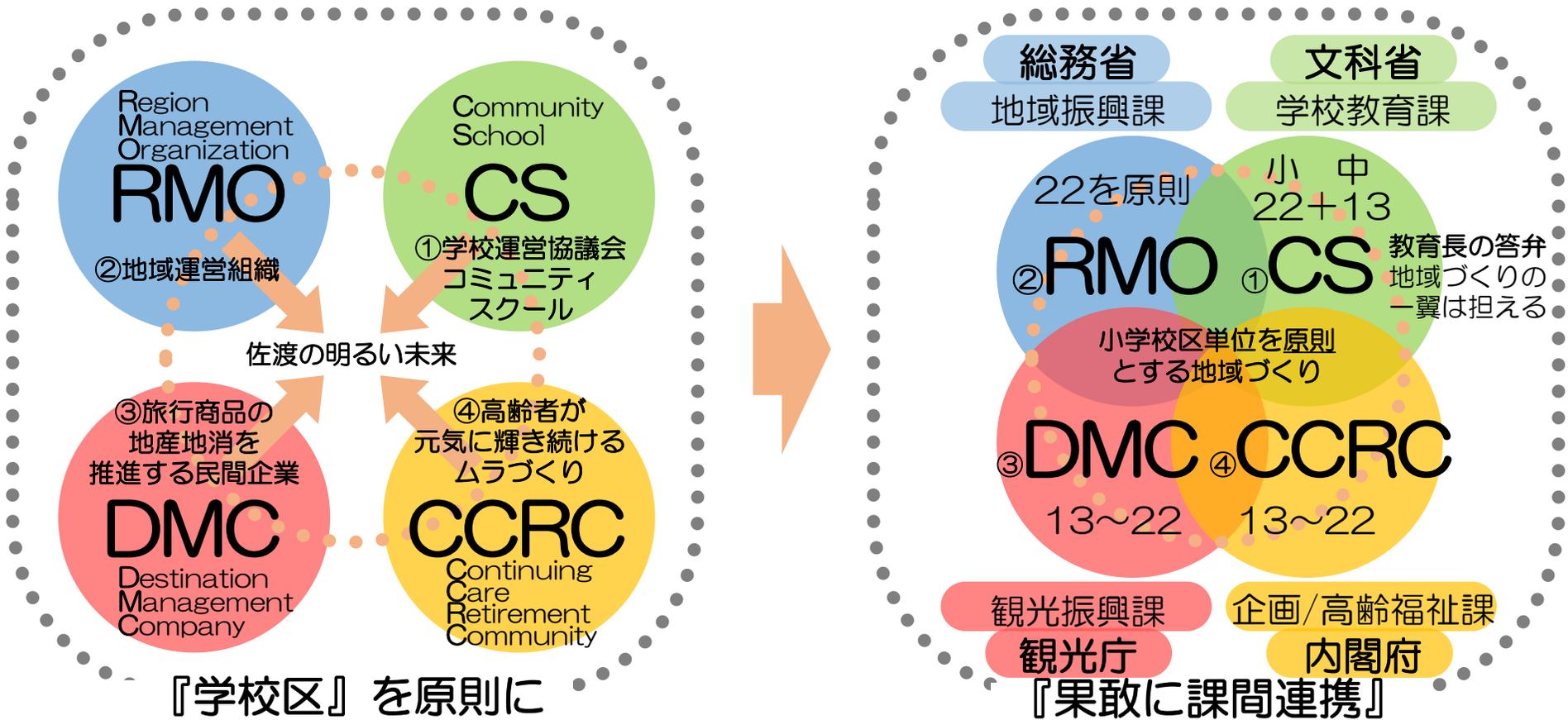
三度のメシより佐渡が好き！！ 政風会 幹事長 室岡啓史

▼小学校区単位を原則とする地域づくり①⇒②⇒③⇒④

◆佐渡市における『地域運営組織(RMO)』

昨年度、NPO法人・かみえちご山里ファン倶楽部 関原剛氏「地域づくり公開セミナー」(7/3)にて佐渡市の地域運営組織の適正な規模としては、22の小学校区が最も近いイメージ。

⇒『学校区』を原則に地域づくりを進めるべき！



▼①汗を出す⇒②知恵を出す⇒③金を出すの優先順位を大切に！ 3

◆松下幸之助(1894年～1989年)

日本の実業家、発明家、著述家。パナソニック（旧社名：松下電気器具製作所、松下電器製作所、松下電器産業）を一代で築き上げた経営者である。異名は「経営の神様」。その他、PHP研究所を設立して倫理教育や出版活動に乗り出した。さらに晩年は松下政経塾を立ち上げ、政治家の育成にも意を注いだ。

【出典】Wikipedia

▼松下幸之助の言葉

『まず汗を出せ、汗の中から知恵を出せ、それが出来ない者は去れ』⇒知恵があっても、まず汗を出さない。本当の知恵はその汗の中から生まれてくるものだという意味だそうです。



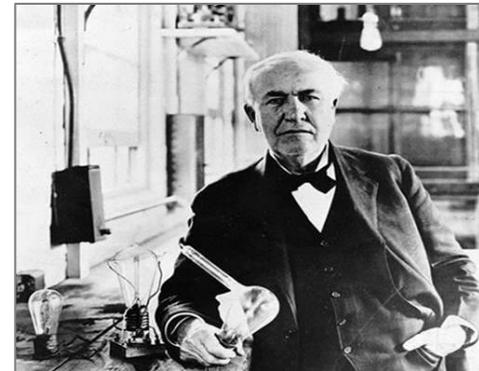
【出典】<https://konosuke-matsushita.com/>

◆トーマス・アルバ・エジソン(1847年～1931年)

発明家、起業家。傑出した発明家として知られている。生涯におよそ1,300もの発明と技術革新を行った人物である。例えば蓄音器、白熱電球、活動写真である。エジソンはJ・Pモルガンから巨額の出資・援助をもらい、現ゼネラル・エレクトリック社を設立した。電球などの家電だけでなく、発電から送電までを含む電力システムの事業化に成功した。 【出典】Wikipedia

▼エジソンの言葉

『天才は1%のひらめきと99%の努力である。』
Inspiration (ひらめき) ⇔ Perspiration (汗)



失敗すればするほど
我々が
成功に近づいている

【出典】<https://www.youtube.com/watch?v=oFL1AVQQwdk>

⇒まず、①汗を出す。次に②知恵を出す。最後に③金を出す。＝予算をつける。という優先順位を大切にすべきでは？

▼両津夷＝昭和レトロ・両津湊＝江戸レトロ まちづくり案

◆『両津』の地名の由来＝二つの船着き場＝夷・湊のこと
佐渡の玄関口で、船待ちの1時間など旅の最初or最後を
楽しんでもらい、佐渡旅の満足度を上げるべきでは！？

	両津夷【昭和レトロ】	両津湊【江戸レトロ】
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・外観を整える ・空き店舗を活用する ・道路中央の白線を消す ・歩行者天国化する ・一方通行を廃止する ・周辺駐車場を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・外観を整える ・無電柱化する ・空き家を活用する ・北一輝生家を修繕し地域の博物館とする ・周辺駐車場を整備する
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきの整備 ・地域おこし協力隊招聘等による地域づくりのテコ入れ ・イベントの強化 ・あいぽーと佐渡等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきの整備 ・地域おこし協力隊招聘等による地域づくりのテコ入れ ・イベントの実施 ・佐渡汽船等との連携
イメージ	 <p>大分県豊後高田市⇒昭和レトロ</p>	 <p>埼玉県川越市⇒江戸レトロ</p>



【出典】佐渡市 歴史文化基本構想(文化財総合的把握モデル事業報告書)
https://www.city.sado.niigata.jp/admin/vision/his_cul_bp_2011/his_cul_bp_2011.pdf

▼『ひとが輝く多世代交流のさどづくり』という考え方

ひとが輝く多世代交流のさどづくり ～ CCRC (生涯活躍のまち) 構想 ～ C C R C (Continuing Care Retirement Community)

佐渡市では、少子高齢化・人口減少・雇用不安等が大きな課題となっており、それらの解決の糸口を見出すことが急務となっているところです。この度『ひとが輝く多世代交流のさどづくり』についてのセミナーとワークショップを開催し、皆さんで理解を深めたいと考えております。



まつだ ともお
松田 智生 氏 (三賢総合研究所 プラチナ社会センター 主席研究員)
ピンチをチャンスに変える日本版CCRC (生涯活躍のまち)

専門は、超高齢社会の地域活性化、アクティブシニア論。2010年よりCCRCの有望性を指摘し、政府の日本版CCRC構想有識者会議委員他、産官学でアドバイザーを数多く務める。「ミスターCCRC」と言われる当該分野の第一人者。「日本版CCRCがわかる本 ―ピンチをチャンスに変える生涯活躍のまち―」(法研)の著者。

くわはら ことし
萩原 聡 氏 (一級建築士事務所 萩原聡建築研究所 代表)
八幡平と周辺地域のCCRC実践を経て佐渡での可能性を考える

郡内住宅・集合住宅、及び近郊の別荘を多数手掛ける傍ら、オークフィールド八幡平(はちまんたい)、東八幡平病院、特別養護老人ホームりんどう苑、ものがたり診療所もおか、金石上中原町高齢者住宅など、八幡平市と岩手県内でのプロジェクトも多数進行中。一級建築士・インテリアプランナー・宅地建物取引士。

平成 30年 4月 15日 (日)

※当日は 13:00に開場いたします。

あいぽーと佐渡 多目的ホール
(佐渡市両津夷384-11)

①セミナー
13:30~15:30
参加無料
申込不要

②ワークショップ
16:00~17:00
参加無料
要申込

※①セミナー後の、②ワークショップへもお気軽にご参加ください。
ご希望の方は、お電話かQRコードの申込フォームにて氏名・電話番号をお伝えください。多数のご参加をお待ちしております。

【電話】090-9335-9519 【URL】<https://sado-jc.com/regist/>

【※切】4月10日(火) 【担当】佐渡青年会議所 地域力結束委員会(室岡)



JCI 佐渡青年会議所
Junior Chamber International Japan S A D O

佐渡青年会議所 検索
【主催】佐渡青年会議所 【共催】佐渡市

▲4/15(日) CCRCセミナー&ワークショップチラシ

さとの島銀河芸術祭2018 市民アートプロジェクト@ 両津夷本町商店街

ひとが輝く多世代交流のさどづくり 『SADO ART PLUS+@RYOTSU-EBISU』

佐渡市では、少子高齢化・人口減少・雇用不安等が大きな課題となっており、それらの解決の糸口を見出すことが急務となっているところです。7月に「シャッターアート制作」と「バンブーベンチ制作」のイベントを開催し、皆さんと楽しんで多世代交流のさどづくりを実現したいと思っております！



◆ヘタウマなインスタ映えシャッターアート制作◆

- ・「ヘタでいい、ヘタがいい」を合言葉に、皆さんで一生懸命「ヘタウマ」なアートをシャッターに描きます。
- ・佐渡市日10カ市町村の魅力が10のアート作品にします。(例：加茂湖、児太鼓、おけさ布、金山、能、トキなど)
- ・2人以上が被写体に入って初めて完成するアート作品はインスタ映えするので、SNSでアップをお願いします。

◆佐渡産竹材を活用したバンブーベンチ制作◆

- ・シャッターアートを座って見られるように、佐渡産竹材でバンブーベンチを制作します。
- ・竹を縛ってしまったり、イベントしたりする予定です。商店街を歩き疲れた人には気軽に座ってもらい、写真を撮ってほしい方には、積極的に声をかけて交流しましょう。

平成 30年 7月 15日 (日)

両津夷本町商店街内 両津商工会前集合

※集合 午前の部 10時 午後の部 13時
(佐渡市両津夷182-1)

① 午前の部
10時~12時
参加無料
申込不要
雨天決行

② 午後の部
13時~17時
参加無料
申込不要
雨天決行

※終日、午前のみ、午後のみでご参加いただけます。(対象：大人から子どもまで)
※当日は周辺駐車場の混雑が予想されますので、お乗り合わせの上、会場までお越しください。
(駐車場：両津支所様、おんでこドーム様隣り、加茂湖漁協様など)
※終日ご参加される方は、お弁当持参や外食等にて各自昼食をお済ませください。



【持ち物】汚れても良い服装、タオル、飲み物、昼食(終日参加の方)
【お問い合わせ】☎090-9335-9519 地域力結束委員会 室岡
【URL】<https://sado-jc.com/topics/news/420/>



シャッターアート制作、バンブーベンチ制作ともにお気軽にご参加ください。
お問い合わせは上記までお願い致します。多数のご参加をお待ちしております！

JCI 佐渡青年会議所
Junior Chamber International Japan S A D O

【共催】佐渡市、佐渡観光交流機構、両津夷本町商店街
【協力】佐渡バンブークラブ、両津の未来を考える会
【後援】さとの島銀河芸術祭実行委員会、佐渡連合商工会

▲7/15(日) 市民シャッターアートプロジェクトチラシ

▼市民アートプロジェクトプロジェクト本番@両津夷本町商店街
参加していただく市民の皆さんには、できるだけたくさんの方に筆を入れてもらいたい。また、バンブーベンチ制作も手伝ってもらい、協働により17時まで完成させた。

『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想の実現 (ver2.0)

エコ

佐渡の集落は多様で個性豊かで素晴らしい！
 生き活きと暮らせる集落づくりを実現します！

佐渡の集落を守り、輝かせる！！

↓ 限界集落も増え、待ったなしの状況です。
 その解決のためには・・・

エコ

『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想

↓ 佐渡の集落を電気自動車で巡る新しい観光。
 ストーリーのある旅づくりを構築。 ※①

『佐渡アイランド情報化大作戦』

↓ 地域おこし協力隊の仲立ちによって、
 集落の方から佐渡の小中高生、Uターン者へ
 集落の魅力を教えていただく機会を創出。

ITで『佐渡の集落多様性』を世界に誇る

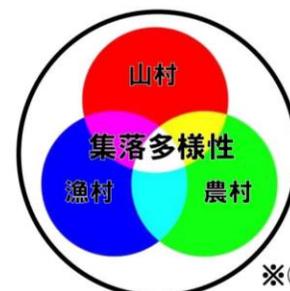
↓ 一人ひとりが集約した情報は多言語対応の
 WEBサイトを制作し世界中に発信します。 ※②

佐渡の集落の守り人『佐渡人』の育成

佐渡を大切に思う心と生活できる懐のある
 『佐渡人』を集落の守り人として育てます。



※①



※②

『集落環境・景観を守るルール』づくり

古民家再生、利活用による受入体制構築

一社一村運動、CSR、『生き方の博物館』

と旅行商品

『食とエネルギーの地産地消』を目指す！

集落内の地域教育、観光振興、雇用創出
 (コミュニティスクール=みんなの学校) (生業ハローワーク)

ほぼ

『子育て¥0の島づくり』を目指す！

と関係人口

Uターン、孫ターン促進、交流人口増大

▼食と旅行商品とエネルギーの地産地消推進について

◆国策：原子力発電所の今後のあり方について

- ＜【保守】原発再稼働！？ ⇒ 佐渡では、自然エネルギーを推進すべき！！
- ＜【革新】原発廃炉へ！？ ⇒ 佐渡では、自然エネルギーを推進すべき！！

▼佐渡エコアイランド集落ツーリズムとは・・・

レンタカー等の電気自動車（EV）で佐渡を巡り、集落の人に会う旅のこと。
宿泊施設に駐車している間に、自然エネルギーで充電し、港へと戻るエコな旅。

▼V2Hとは・・・

住宅と電気自動車が連携する「Vehicle to Home（V2H）」

Vehicle to Homeとは、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池車（FCV）などの自動車が蓄電池に蓄えた電力を家庭用電力として利用する動きのことを指す。

⇒**停電等有事の際**にも、日常生活に支障をきたさない可能性が高く、災害に強いまちづくりへとつながるとも言える。

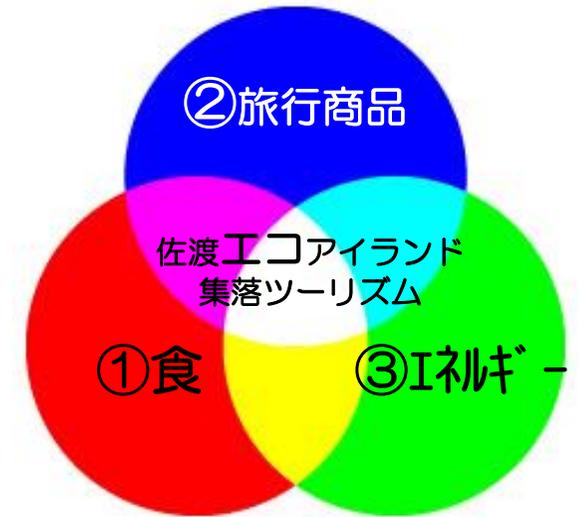
⇒島内に自動車は約5万台、うち電気自動車は52台程度、つまり普及率0.1%！

【出典】スマートハウ斯拉ボ<http://smarthouse-lab.com/2014/01/v2h/>

▼エコアイランド集落ツーリズムモデル地域づくりの2つのアプローチ

- ＜【A】小倉ダム小水力発電等の自然エネルギー×宿泊・食・体験による観光地域づくり
- ＜【B】古民家再生宿・仕出し・さどんぼ等による観光地域づくり×集落産の自然エネルギー

⇒観光アプローチからモデル事業化をして、横展開して他地域へ広げる。その後、市民利用へとつなげる！



▼エコカー(EV、PHV等)導入推進等の佐渡市補助施策

▼①レンタカー用電気自動車等購入補助金

佐渡市電気自動車等購入費補助金

平成30年4月1日発行

レンタカーとして使用する電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の購入を補助します。

(例)電気自動車を2台購入 車両本体価格約3,500,000円	2台購入額:約7,000,000円
センター補助金額 400,000円×2台=800,000円	補助金合計額(センター+佐渡市) 1,600,000円
佐渡市補助金額 400,000円×2台=800,000円	



実質購入額→5,400,000円



<補助金額>

(一社)次世代自動車振興センターのクリーンエネルギー自動車導入事業費補助金(以下センター補助)の補助金交付額と**同額**

<対象者>

センター補助の補助対象となっている電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車を**2台以上購入するレンタカー事業者**

<注意点>

補助金交付決定前に車両の購入契約をされた場合は、補助の対象から外れますのでご注意ください。

<申請期間>

平成31年1月31日(木)まで
※予算の上限に達した場合は、申請期間内であっても受付を終了します。

<お問合せ>

佐渡市役所市民福祉部 環境対策課環境エネルギー係 電話:0259-63-3113
※制度の詳細について、佐渡市ホームページに掲載しています。

▼②レンタカー用電気自動車等購入補助金

佐渡市電気自動車等用充電設備設置費補助金 (V2H充電設備)

平成30年4月1日発行

(一社)次世代自動車振興センターの補助対象となっているV2H充電設備の設置を補助します。

V2H充電設備1基当たりの設置額:約1,200,000円

(一社)次世代自動車振興センター補助金額 1,000,000円×50%=500,000円	補助金合計額 (センター+佐渡市) 700,000円
佐渡市補助金額 1,000,000円×20%=200,000円	

実質設置額→500,000円



<補助金額>

センターが承認した本体価格の**20%**に相当する額

<対象者>

センターの電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業補助金の補助対象となっている**V2H充電設備を設置する個人**

<注意点>

補助金交付決定前に機器の購入及び工事に係る契約を締結された場合は、補助の対象から外れますのでご注意ください。

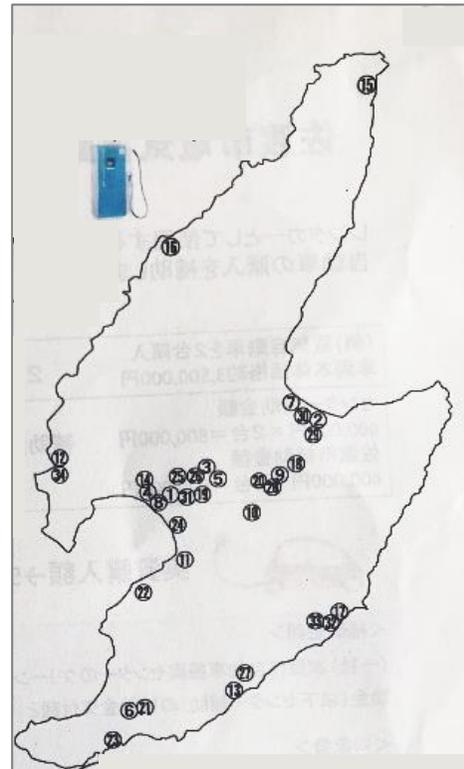
<申請期間>

平成30年12月28日(金)まで
※予算の上限に達した場合は、申請期間内であっても受付を終了します。

<お問合せ>

佐渡市役所市民福祉部 環境対策課環境エネルギー係 電話:0259-63-3113
※制度の詳細について、佐渡市ホームページに掲載しています。

▼電気自動車充電可能場所



電気自動車充電可能場所は、**約34カ所**存在する(平成30年3月末現在)。
⇒**24時間充電できる場所は現在のところない。**
島内に自動車は約5万台、うち電気自動車は52台程度、つまり普及率0.1%!

【出典】佐渡市 市民福祉部 環境対策課 環境エネルギー係

▼次世代電池『全固体電池』等の最先端技術について

◆日本経済新聞 2018/9/4付 全固体電池コスト低減 長岡技術科学大学准教授 本間剛氏（抜粋）

電気自動車（EV）の次世代電池として期待される『全固体電池』の開発競争が活発だ。電解質に可燃性の液体を使う電池が一般的だが、全固体電池は発火の恐れがない。蓄電量も多い。EVに全固体電池を搭載すれば、防火などの安全設備が不要となり、スペースを有効活用できる。EVの走行距離を2倍以上に延ばすことが期待できる。

今回の電池はレアメタル（希少金属）のリチウムの代わりに、資源が豊富なナトリウムを使い、コストを低減できる。電解質には酸化物を使っており、環境負荷も小さい。家庭用の定置型蓄電池も有望だ。太陽光発電の電気を蓄え、夜間などに使う。全固体電池は低コストで長寿命も期待できる。再生可能エネルギーの利用促進にもつながる。

電気自動車をソーラーカーに。ちょっと未来の蓄電システム。

家庭で電気をためられる「蓄電」システム。

太陽光発電でつくった電気をためることで、夜間や非常時にも自家製の電気が使えます。

新しく登場した「トライブリッド蓄電システム™」は、自宅の電気はもちろん、

新たに電気自動車やPHVとも組み合わせられるようになりました。

太陽光から生まれた電気を使うことで、電気自動車はソーラーカーとして生まれ変わります。

【夜間】自然エネルギーで蓄電された電気を活用して照明や空調等+エコカー（レンタカー）に充電

【日中】再生された古民家宿等に蓄電池を設置して、太陽光・風力・水力など集落産エネルギーで蓄電



※EV：40kWhの容量のバッテリーで約300km走行可能。また、中古車EVのバッテリーを蓄電池としても活用可能。

【出典】<http://www.nichicon.co.jp/products/tribrid/tribrid.pdf>

▼エネルギーの島内生産額、地産地消の実現状況

▼島内のエネルギー生産額は、推計180億円/年程度

▼エネルギーの地産率の推定

自然エネルギーの普及率＝地産率と捉えて2%程度

▼エネルギーの地産地消で年間+100億円の皮算用

上記仮定では、180億円/年×2%＝3.6億円/年

現状で年間+100億円となると、地産率は・・・

(3.6億円+100億円)÷180億円≒58%程度

つまり今よりも56%ほど多く自然エネルギーを普及させることができれば、+100億円/年！

2060年、人口37,000程度を維持している佐渡で、37,000人÷56,000人≒66%となる。

180億円/年×66%≒120億円

(3.6億円+100億円)÷120億円≒86%程度

つまり今よりも84%ほど多く自然エネルギーを普及させることができて初めて、+100億円/年！

∴佐渡でエネルギー自給率100%が達成できれば、年間+100億円の金を島の中で回すことが可能！？

▼佐渡市におけるエネルギー需要量に対するコスト

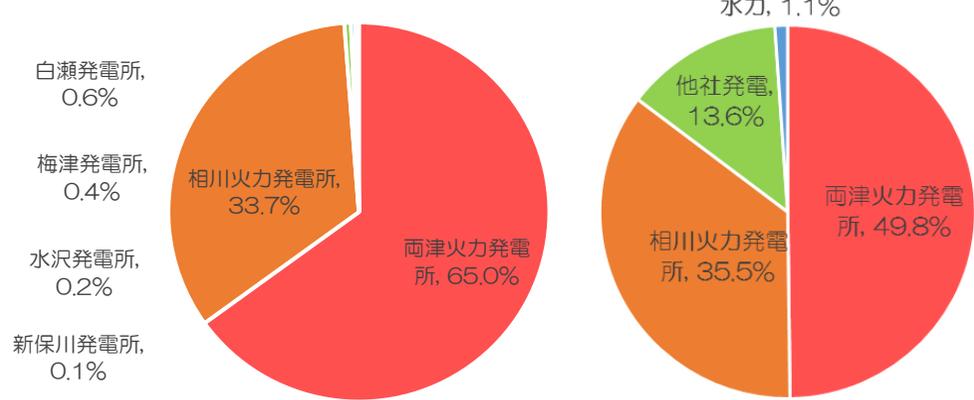
概ね156億円と推計される。そのまま島外流出していると仮定すると、年間1,000億円の15.6%を占めることとなる(平成25年度)。⇒オイルマネーの流出

▼電力会社直営による自然エネルギー推進は不可能か？

不採算地域こそ投資して自然エネルギーを推進することで燃料代購入費が削減され、中長期的には経営改善につながると考える。また、離島のモデルとなり、本土での展開へとつながる可能性もある。

発電種類	発電所名	出力 (kW)	割合	出力 (kW)	割合
火力	両津火力発電所	53,000	65.0%	80,500	98.8%
火力	相川火力発電所	27,500	33.7%		
水力	白瀬発電所	457	0.6%	998	1.2%
水力	梅津発電所	300	0.4%		
水力	水沢発電所	133	0.2%		
水力	新保川発電所	108	0.1%		

【出典】佐渡の水力・内燃力発電所(東北電力佐渡営業所作成)



【図】水力・内燃力発電所出力割合

【図】電源別発電電力量割合



一歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島

佐渡市 まち・ひと・しごとと創生 人口ビジョン・総合戦略 (概要版)

このままだと2060年には人口が2万5千人程度

2020年までに合計特殊出生率を2.08

2060年に3万7千人程度の人口を確保

社会減を5年毎に50%縮小

佐渡市

佐渡市では、平成27年7月31日 今般目前すべき方向と人口の将来展望を示した「佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定することになり、人口減少傾向の克服を自前すため「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、人口減少対策の長期的な取組として「佐渡の再生を担う若者を中心とする人材育成・確保」を、短期的な取組として「一次産業の振興と観光振興を中心とした若者の雇用の受皿づくり」、「子育て環境の整備」を掲げています。

「佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」、「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、佐渡市ホームページからダウンロードできます。

出典 総合企画 佐渡市役所 総合戦略課 電話0259-63-3111(代番)/0259-63-3802(直通)

佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(概要)

人口の現状

- 平成25年度末 60,196人
- 毎年、約1,000人ずつ減少
- 高齢化が進み65歳以上の人口割合が38.6%
- 出生数が減少傾向 約300人/年
- 死亡数は増加傾向 約1,000人/年
- 合計特殊出生率は1.9前後と国県と比較して高い数値で 推移
- 佐渡への転入者より、転出者が圧倒的に多い 約-300人/年

【自然減】約700人/年
【社会減】約300人/年

◆新規就農経営体数：平成31年度における新規就農経営体数 34経営体/年
◆新規起業、第二創業及び企業誘致した数：5年間で50件増加

人口の推計

- このまま何も対策を講じなければ、2060年には、2万5千人程度まで激減

※国立社会保障・人口問題研究所の推計

何とぞしないと

目指す将来の方向

- 合計特殊出生率を2.08へ向上
- 社会減を5年毎に50%縮小

2060年に3万7千人程度の人口を確保

1950年：125,000人
2018年：56,000人
⇒68年で-69,000人
∴-1,015人/年減り続けている。

佐渡市 まち・ひと・しごとと創生総合戦略(概要)

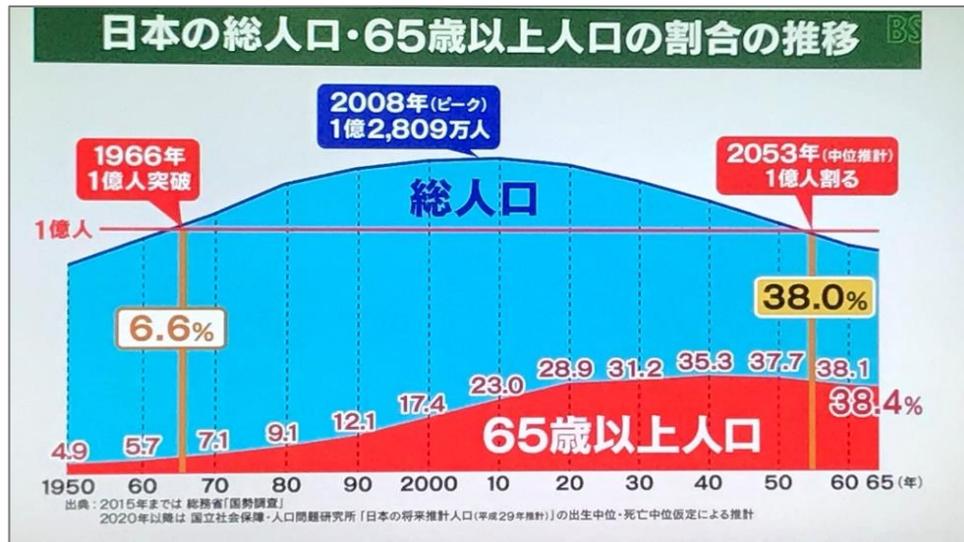
基本目標	主なKPI	主な取組
1 島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する	<ul style="list-style-type: none"> ○コシヒカリの1等米比率 66% (平成22～平成26年度平均値) → 90%以上 (平成31年度) ○新たに雇用を創出する農工商連携又は6次産業化を行う企業・団体数 6次 (累計) (平成31年度) ○中学生の職場体験日数 2.2日/年 (平成26年度) → 5日/年 (平成31年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇佐渡米の品質向上 (色彩選別機等機械導入補助等) や高付加価値化に関する支援 ◇「新規就農親制度」等の新規就農者確保に向けた取組の充実 ◇「佐渡版戸別所得補償制度」等による60歳未満農業業者等への支援 ◇起業、第二創業及び企業誘致の促進 ◇農工商連携と6次産業化の促進
2 世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ○市及び観光協会ホームページのページビュー件数 458,783件/月 (平成26年) → 500,000件/月 (平成31年度) ○年間100人以上が参加する着地型商品数 6コース (平成26年) → 10コース (平成31年度) ○外国人観光客数 1,510人/年 (平成23年) → 5,000人/年 (平成31年度) ○航路総輸送人員 158万人/年 (平成26年) → 200万人/年 (平成31年度) ○3資産を語るのガイド数 50人 (平成31年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇観光推進体制の強化 (佐渡旅MO設立の検討等) ◇誘客広告宣伝の強化 ◇多様化する顧客ニーズに対応した観光メニューの開発 ◇周辺滞在型旅行の推進 ◇広域観光連携の促進 ◇ハード面での受入環境の整備 (トイレの洋式化、外国語表記を含む看板・案内板の整備、Wi-Fi環境の充実、駐車場の整備等) ◇ソフト面での受入環境の整備 (ガイドの養成、ICTの活用、消費税免税店の促進等) ◇ICT等を利用した外国人旅行者に向けた情報発信の整備とルート確立 ◇佐渡航路運賃の低廉化及び多様化 ◇島内二次交通の充実 ◇佐渡空港の整備及び航空路の再開 ◇両津港・小水港等の賑わい空間づくり
3 生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する	<ul style="list-style-type: none"> ○市が実施する出会いイベント等によるカップル成立数 11組/年 (平成26年度) → 50組/年 (平成31年度) ○出生数 344人/年 (平成25年度) → 440人/年 (平成31年度) ○若者定住支援数 25人/年 (平成26年度) → 80人/年 (平成31年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇独身男女の出会いの場の創出 ◇保育料2人目無料化の拡充 ◇妊娠から出産・子育て 就業までの総合相談サポート ◇キャリア教育の推進 ◇「豊かな心を育む教育」の推進 ◇小学校から高校までの教育費等の負担軽減方策の検討 ◇移住・定住に関する効果的なPR・情報提供 ◇「移住コンシェルジュ制度」等による誘導策の展開 ◇移住体験制度を始めとした受入態勢の整備 ◇「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組
4 特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ○地域おこし協力隊員定着率 0% (平成26年度) → 80% (平成31年度) ○しまびと元気応援団自主活動グループ 35団体 (平成26年度) → 50団体 (平成31年度) ○さどまわりネット登録率 24% (平成26年度) → 30% (平成31年度) ○地域防災リーダー認定、登録者数 150人 (平成26年度) → 300人 (平成31年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域自主組織等の地域づくり活動への支援 ◇学校や地区公民館を活用した交流拠点づくり ◇地域包括ケアシステムの構築 ◇安全・安心な医療が受けられる体制 (医師・看護師確保等) の整備 ◇公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進 ◇地域防災力向上に資するリーダーの育成 ◇市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施 ◇港湾等防災拠点の整備

まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間：平成27年度～平成31年度(5年間)

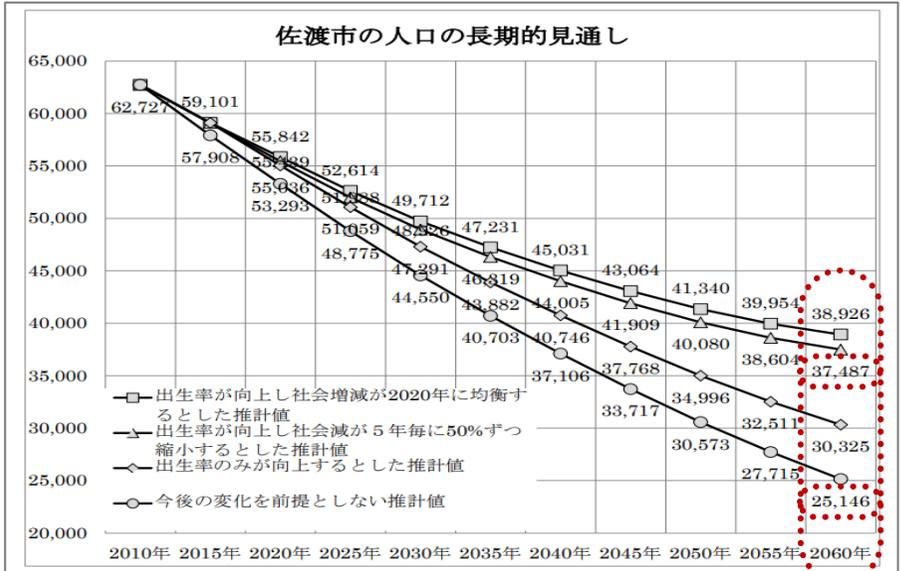
※【KPI】key performance indicator の略で、企業目標の達成度を評価するための『主要業績評価指標』のことをいう。 【出典】佐渡市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略

基本目標		数値目標	計画策定時		H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H31目標値
1	島の資源を活かし、元氣な産業と安定した雇用を創出する。	新規就農経営体数	16 経営体	(H26)	16 経営体	11 経営体	6 経営体	34 経営体
		新規起業、第二創業及び企業誘致した数	3 件(累計)	(H26)	15 件(累計)	23 件(累計)	16 件(累計)	50 件(累計)
2	世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する。	観光入込数	53 万人	(H25)	50.4 万人	50.0 万人	48.8 万人	70 万人
		佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数	364,493 泊	(H25)	308,191 泊	291,106 泊	272,286 泊	492,000 泊
		リピート率	37.8 %	(H24)	39.0 %	42.4 %	34.0 %	55.0 %
		観光客1人当たり平均宿泊数	1.56 泊	(H25)	1.60 泊	1.82 泊	泊	1.61 泊
3	生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。	合計特殊出生率	1.88	(H25)	1.88 (H26)	1.75 (H27)	1.87 (H28)	2.08
		社会減数	▲約370 人/年	(H21~H25)	▲348 人/年(H26)	▲318 人/年(H27)	▲308 人/年(H28)	▲185 人/年
4	特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する。	これからも佐渡市に住み続けたいと思う人の割合	72.7 %	(H27)	- %	- %	%	80.0 %
		自主防災組織率	88.0 %	(H26)	89.4 %	89.8 %	89.6 %	100 %
基本目標3 生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。								
ア 出会いから結婚までのサポート		市が実施する出会いイベント等によるカップル成立数	11 組/年	(H26)	12 組/年	6 組/年	0 組/年	50 組/年
ア 出会いから結婚までのサポート		出生数	344 人/年	(H25)	382 人/年	330 人/年	284 人/年	440 人/年

【出典】佐渡市企画財政部企画課



【出典】報道ライブインサイドOUT 寺島実郎の「未来先見塾」



【出典】佐渡市人口ビジョン

▼未来予測は長期スパン＝2100年頃までを見据えよ！

◆2018年7月4日（水）

市民大学講座@金井コミュニティセンター

『私たちの暮らしと地球温暖化』

公益財団法人新潟県環境保全事業団

新潟県地球温暖化防止活動推進センター

大川剛史さんによる講演。

【地球温暖化とは・・・】

二酸化炭素などの温室効果ガスが大気内に増えると熱がさらに地球にこもりやすくなり、気温上昇が起こる。気温上昇により、南極・北極などの氷が溶けて海面上昇が起こり高潮などの水害や浸水する場所が増えていく。

【このままだと2100年頃には・・・】

- 新潟の平均気温13.9℃が4.5℃上昇し、鹿児島並みの平均気温となる！？
- 新潟の真夏日約34日が約53日増加し、約87日となる！？
- 地球の海水面は最大82cm上昇し、高潮・洪水など浸水の危険が増加する！？



【そうならないために・・・】

- 21世紀後半に、温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要。
- 私たちの行動を変え、社会の低炭素化につながる選択が必要。

⇒COOL CHOICE！ by環境省

あらゆる『賢い選択』を促す新国民運動

∴地球規模の問題は、長期スパンで考える視点が大切！

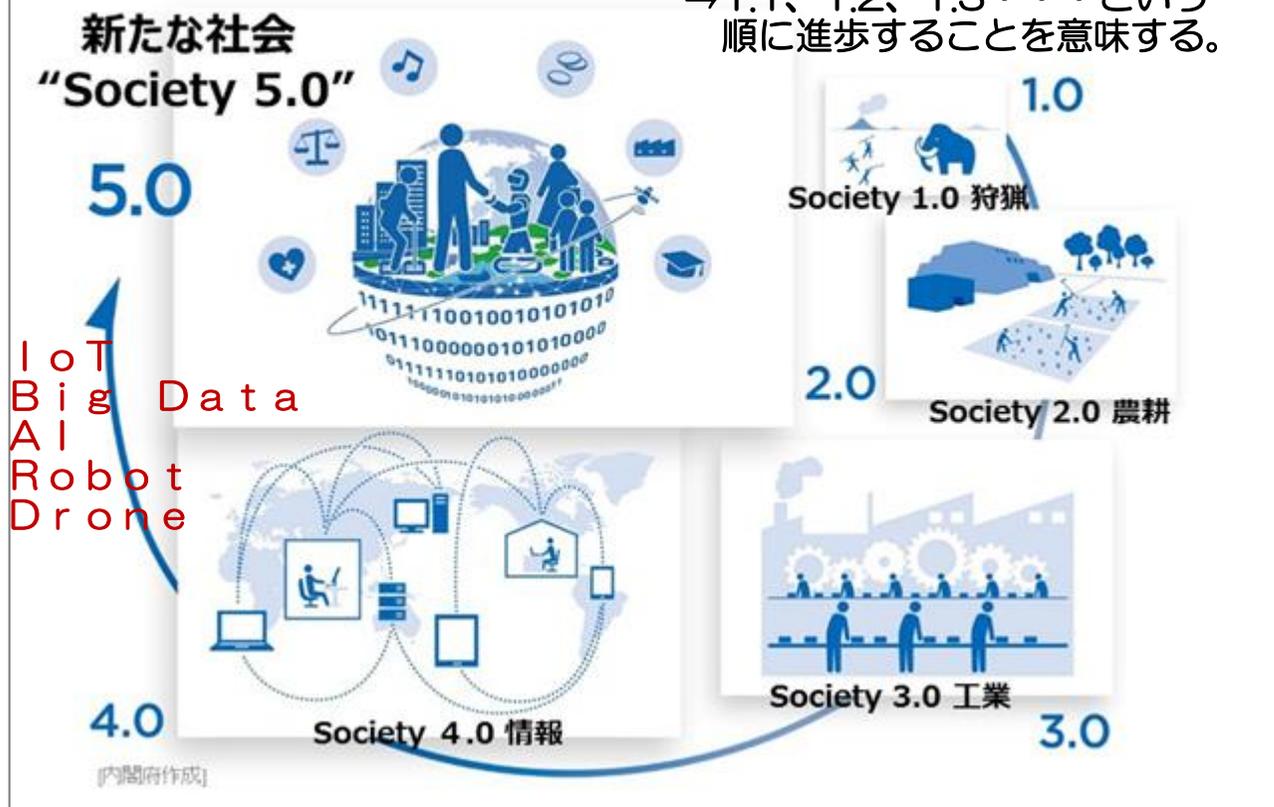


← 【出典】環境省 COOL CHOICE 未来のために、いま選ぼう。

▼Society (ソサイエティ=社会) 5.0とは・・・

◆超スマート社会、2045年にAIが人類の知性を超える！？=『特異点』

※『1』ではなく、『1.0』の理由
⇒1.1、1.2、1.3・・・という
順に進歩することを意味する。



【出典】内閣府ホーム＞内閣府の政策＞科学技術政策＞Society 5.0

▼究極の哲学：人は何のために生きるのか？

人は何のために学ぶのか？人は何のために働くのか？人類はどこから来たのか？この世は誰がつくったのか？神は存在するのか？ヒマが生まれることで、人は問を立てて考える必然性が今よりも強くなるのではないか？

▼人類の進化のプロセス

- ①狩猟社会
- ②農耕社会
- ③工業社会
- ④情報社会
- ⑤〇〇社会⇒超スマート社会

▼地方創生に追い風ではないか？

AI(人工知能)やスマートロボットの活躍による地方で営む一次産業の人材不足解消。首都圏でのオフィスワーカーの雇用喪失。都市⇒地方への人口の流動がおり、地方に光が落ちるのではないかと推測している。

▼一次産業～二次産業～三次産業

一次産業ほど、AIがサポート役に？
三次産業ほど、AIが取って代わる？



【出典】エン転職『二次産業って？』

▼関係人口×ローカルプロジェクトのつくり方について

15

◆2018年9月8日（土）@金井コミュニティセンター
『ソトコト編集長の指出一正さんと対話して考える、
関係人口×ローカルプロジェクトのつくり方』

【関係人口】とは・・・住んでいなくても地域に関わる人、応援する仲間のこと。自分のかたちでまちと関わりたいとする考え方（観光以上、移住未満）。

【関係案内所】とは・・・観光案内所ではなく、人と人との関係を案内する場所。外の人に関わってもらうためのサービスではなく、関わりたくなる雰囲気や隙間（弱点）＝『関わりしろ』をヨソモノと共有できる場所。

平成30年度
・佐渡地域づくり
セミナー

ソトコト編集長指出一正さんと
対話して考える

参加費
無料!
※交流会あり
(実費)

関係人口
×
ローカル
プロジェクト
のつくり方

主催 佐渡地域振興局
共催 佐渡市
企画・運営 新潟県NPO・
地域づくり支援センター
(認定NPO法人新潟NPO協会・
NPO法人まちづくり学校)

平成30年9月8日(土)
午後1時30分～午後5時
(開場13時～)



【概要】

- ・ イワナやタナゴや自然など、人間がつくることができないものが残されている場所こそ、豊かな地域である。
- ・ かっこよい生き方とはどういうことなのか考えよ。
- ・ 自分たちの足元にあるもの、小さな視点を大切にせよ。
- ・ 関係人口は、むやみに増やせない。数にはこだわらない。
- ・ 地域内の人たちが面白がると外の人たちがのぞきたがる。
- ・ 地方創生の最重要項目として『関係人口』と『関係案内所』というキーワードが盛り込まれた。
- ・ かつてはお金でモノを買うことで自己承認感を得ていた。2000年代は観光や資格取得など体験を買うことで自己承認感を得ていた。今は、お金を使って『関係』を買う時代になってきた。
- ・ 『私が発見した』という喜び、他人事⇒自分事になることが大切。
- ・ ハレの日よりもケの日を大切に。玄関よりも勝手口から入るイメージ。『あたりまえの日常』を楽しむ。
- ・ 『地域を編集する』という視点を大切に。
- ・ 関係人口×ローカルプロジェクトのソーシャルな視点
 1. 関係案内所
 2. 未来をつくっている手応え
 3. 『自分ごと』として楽しい

▼雲竜型（『攻め』と『守り』）の佐渡市政を！！！！

◆横綱の雲竜型の土俵入りとは・・・

土俵入りの型には、①雲龍（うんりゅう）型と②不知火（しらぬい）型という2つの型が存在する。
 ①雲龍型は右手が『攻め』左手が『守り』の『攻防兼备の型』、②不知火型はせり上がりで両手を伸ばす『攻撃の型』を表していると言われている。

▼自然エネルギー推進のための所管換えの提案

自然エネルギーの推進にあたり、環境エネルギー係を市民福祉部環境対策課→産業観光部農林水産課へと所管換えすべきではないか？
 cf.新潟県→産業労働観光部産業振興課新エネルギー資源開発室が自然エネルギーを推進している。

◆砂山を両方から掘っていくイメージ



【出典】 <http://photozou.jp/photo/show/300557/35734367>



【出典】角力座『すもうシアター』：千代の富士の土俵入り

